

予算総額 208億9,654万5千円

一般会計 120億3,590万円  
 特別会計 81億6,508万4千円  
 企業会計 6億9,556万1千円

勝山市はこれまで、長期的展望にたった持続可能なまちを目指した第5次勝山市総合計画を策定し、その実現に取り組んできました。その内容は、今日の人口減少を予測し、それに対処すべく策定した、「子育て支援日本一」政策や、当市を構成している基礎的コミュニティである各地区の地域力向上、およびまちづくり観光の推進等を重要な施策として掲げています。

当市における「勝山市地方創生総合戦略」は、第5次勝山市総合計画の延長線上にあると捉え、計画期間10年の中間期に当たる本年度、総合計画の重点施策を精査し、取り組みに幅と厚みを持たせた独自性を発揮し、国の支援を受けて取り組んでいくことを目指しています。

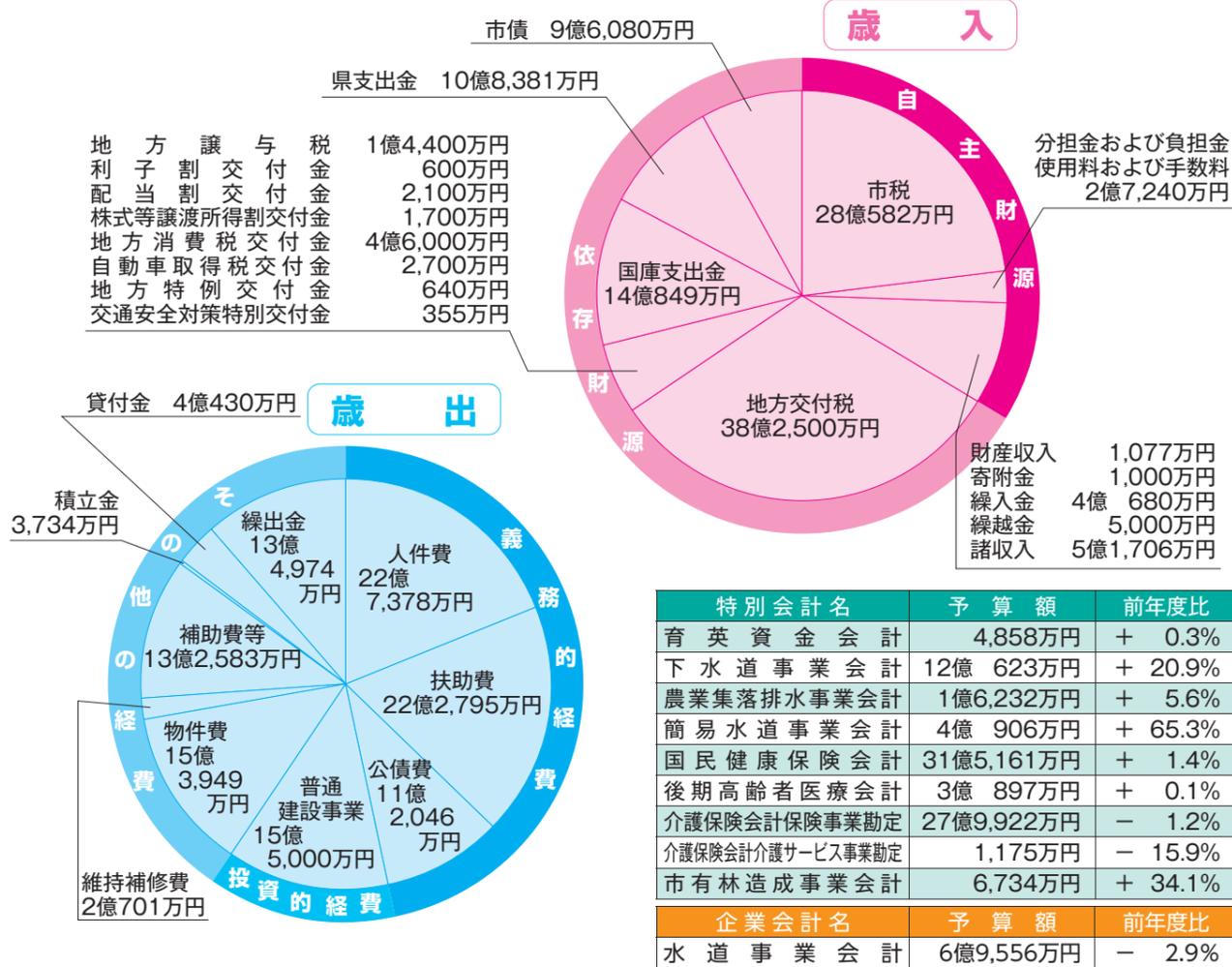
今後も引き続き「子育て支援日本一」を始め、ふるさと回帰、定住促進事業、教育環境の充実、健康長寿や文化芸術・スポーツの振興、働く場の確保やまちづくり観光、循環型農業の推進、林業および内水面漁業の振興、交通体系の整備と防災対策、雪など災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。

今年度は、次の大型プロジェクトとなる観光の産業化の重点施設「道の駅」建設の準備のための予算を計上しています。また、(仮称)観光まちづくり会社、および旧料亭「花月楼」の整備利活用などについては、今後、行政の支援も視野に入れた民間活力の導入を図ってまいります。

一方、年々顕著な増加が見込まれる、県立恐竜博物館への来館者対策としての長尾山総合公園維持管理、および再整備事業などを計上しています。

平成28年度 勝山市当初予算決まる

小さくてもキラリと光る誇りと活力に満ちたふるさと勝山の実現



特別会計名	予算額	前年度比
育英資金会計	4,858万円	+ 0.3%
下水道事業会計	12億6,232万円	+ 20.9%
農業集落排水事業会計	1億6,232万円	+ 5.6%
簡易水道事業会計	4億9,066万円	+ 65.3%
国民健康保険会計	31億5,161万円	+ 1.4%
後期高齢者医療会計	3億8,977万円	+ 0.1%
介護保険会計保険事業勘定	27億9,922万円	- 1.2%
介護保険会計介護サービス事業勘定	1,175万円	- 15.9%
市有林造成事業会計	6,734万円	+ 34.1%
企業会計名	予算額	前年度比
水道事業会計	6億9,556万円	- 2.9%

勝山さんちの家計簿

年収600万円程度の世帯に合わせるため、予算額の2,000分の1で計算してあります。

収入

平成28年度予算 (一般会計性質別内訳)	世帯の年収内訳 (H28予算の2,000分の1)	前年度収入
市税などの自主財源 40億7,285万円	給料・パート収入 203万6,425円	給料・パート収入 198万4,400円
地方交付税・国・県支出金など 70億225万円	両親からの援助など 350万1,125円	両親からの援助など 378万3,040円
市債発行 9億6,080万円	各種ローンの借入 48万400円	各種ローンの借入 78万7,700円
収入計 120億3,590万円	収入計 601万7,950円	収入計 655万5,140円

支出

平成28年度予算 (一般会計性質別内訳)	世帯の年支出内訳 (H28予算の2,000分の1)	前年度支出
繰出金・補助費・出資金・貸付金など 30億7,987万円	子どもへの仕送り・各種会費など 153万9,935円	子どもへの仕送り・各種会費など 159万7,460円
人件費 22億7,378万円	食費 113万6,890円	食費 117万1,020円
扶助費 22億2,795万円	医療費 111万3,975円	医療費 109万5,030円
普通建設事業・維持補修費 17億5,701万円	車の購入・自宅の増改築・修繕費 87万8,505円	車の購入・自宅の増改築・修繕費 129万1,160円
公債費 11億2,046万円	ローン返済 56万230円	ローン返済 57万540円
物件費 15億3,949万円	光熱水費・被服費など 76万9,745円	光熱水費・被服費など 81万4,460円
積立金 3,734万円	新たな預貯金 1万8,670円	新たな預貯金 1万5,470円
支出計 120億3,590万円	支出計 601万7,950円	支出計 655万5,140円



**〔一般会計〕歳入予算の概要**

一般会計の予算規模は、大型プロジェクトであった新体育館の本体建設工事が終了したことに伴い、前年比約10億7,400万円減額の約12億3,600万円(国の補正予算により、前年度3月補正予算に前倒しした事業費を加えると約17億円の減額)となりました。

**〔市税〕** 市税全体では約28億6,000万円を見込み、前年度比約1,900万円の減額となりました。

**〔地方交付税〕** 普通交付税は前年度比約1億2,100万円減額の約31億4,500万円を見込んでいます。特別交付税については前年度同額の6億8,000万円で見込んでいます。

**〔一般会計〕歳出予算の概要**

建設事業に充てる普通債は約5億8,300万円、前年度比約5億8,000万円の減額となっています。

普通交付税の振替として借り入れる、臨時財政対策債は約3億7,800万円、前年度比35,000万円の減額となっています。

**〔財政調整基金繰入金〕** 一般財源の減収や市営体育館取り壊し工事などによる普通建設事業(単独)の増額により生じた、財源不足の対応として、財政調整基金から約3億8,100万円を繰り入れた結果、平成28年度末残高は、約10億6,100万円となる見込みです。

**〔人件費〕** 議員共済費、職員共済費などの減額により、前年度比約6,800万円減額の約22億7,400万円となりました。

**〔公債費(市債の償還)〕** 平成27年度和みの杜、南大橋住宅、消防庁舎の償還が終了したことに伴い前年度比約2,100万円減額の約11億2,000万円となりました。

**〔物件費〕** 賃金は、嘱託職員・臨時職員の増員により、前年度比約1,650万円の増額となりました。

需用費は、光熱水費等の減額により前年度比約1,700万円の減額となりました。

委託料は、マイナンバー関連改修費、公共施設等総合管理計画作成委託料などの減額により前年度比約6,100万円の減額となりました。

使用料・賃借料は小学校のデジタル教科書整備などの増額により前年度比約1,300万円の増額となりました。

物件費全体では前年度比約8,900万円減額の約15億3,900万円となっています。

**〔市債〕** 建設事業に充てる普通債は約5億8,300万円、前年度比約5億8,000万円の減額となっています。

普通交付税の振替として借り入れる、臨時財政対策債は約3億7,800万円、前年度比35,000万円の減額となっています。

**〔財政調整基金繰入金〕** 一般財源の減収や市営体育館取り壊し工事などによる普通建設事業(単独)の増額により生じた、財源不足の対応として、財政調整基金から約3億8,100万円を繰り入れた結果、平成28年度末残高は、約10億6,100万円となる見込みです。

**〔人件費〕** 議員共済費、職員共済費などの減額により、前年度比約6,800万円減額の約22億7,400万円となりました。

**〔公債費(市債の償還)〕** 平成27年度和みの杜、南大橋住宅、消防庁舎の償還が終了したことに伴い前年度比約2,100万円減額の約11億2,000万円となりました。

**〔物件費〕** 賃金は、嘱託職員・臨時職員の増員により、前年度比約1,650万円の増額となりました。

需用費は、光熱水費等の減額により前年度比約1,700万円の減額となりました。

委託料は、マイナンバー関連改修費、公共施設等総合管理計画作成委託料などの減額により前年度比約6,100万円の減額となりました。

使用料・賃借料は小学校のデジタル教科書整備などの増額により前年度比約1,300万円の増額となりました。

物件費全体では前年度比約8,900万円減額の約15億3,900万円となっています。

**〔扶助費(児童、障害者、高齢者、生活保護関係など)〕** 私立保育園運営委託料(認定こども園給付費含む)の大幅な増額などにより約22億2,800万円、前年度比約3,800万円の増額となりました。

**〔投資的経費〕** 新体育館の本体建設工事に伴い、前年度比約8億4,200万円の大幅な減額となっています。

一般会計の予算規模は、大型プロジェクトであった新体育館の本体建設工事が終了したことに伴い、前年比約10億7,400万円減額の約12億3,600万円(国の補正予算により、前年度3月補正予算に前倒しした事業費を加えると約17億円の減額)となりました。